

# 第3回 川崎市多摩川プラン推進会議

## 議事要旨

■開催日時：2008年（平成20年）10月7日（火）10：00～11：50

■開催場所：川崎市役所第3庁舎18F大会議室

■出席者（敬称略）

委員長	進士 五十八	東京農業大学 教授
副委員長	北島 信夫	NPO 法人多摩川エコミュージアム 代表理事
委員	青木 昌夫	公募
委員	亀田 多喜	公募
委員	河崎 庄吾	河崎組建設業株式会社 取締役
委員	櫻木 進	公募
委員	鈴木 研司	国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 所長
委員	福田 利雄	公募
委員	安原 晃紀	公募
委員	山道 省三	NPO 法人多摩川センター 代表理事

■議事要旨

### 1. 開会

### 2. 委員長あいさつ

### 3. 趣旨説明

### 4. 議事① 「多摩川プランの推進について」

・多摩川プランの推進について、以下のことを説明しました。

- (1) 多摩川プランの推進状況
- (2) NPO 法人多摩川エコミュージアムの活動報告
- (3) 京浜河川事務所の活動報告
- (4) 多摩川流域懇談会企業部会の活動報告

### 5. 議事② 「川崎市多摩川サイン計画策定委員会委員について」

・安原晃紀委員、櫻木進委員が選出されました。

### 6. 意見交換

「議事① 「多摩川プランの推進について」」の意見交換

(進士委員長)

- ・ 今回の会議では、昨年度の取組や活動内容が、資料にあるとおりの報告書という形になっている。これはいわば多摩川プランの白書みたいなもので、よくまとめられている。これらを踏まえて、何か意見はありますか。

(山道委員)

- ・ 資料2に「③ふるさと資産・遺産事業」とあるが、このような多摩川に関連する資産や遺産に関する情報のデータベース化が必要だ。防災対策や河川改修などで貴重な遺産が消されていく。早急にデータをストックするようなことに着手し、データベース化を進めた方がよい。長島さんなどが頑張っているが、NPOでは限界があるので、行政が行うことが望ましい。また、大田区などの流域自治体と連携して進めてほしい。情報収集については、現在のところ、流域では川崎市がトップだと思われる。
- ・ 大師河原水防センターを40人程度で見学したが、参加者の反響が良かった。できれば毎日開館できるように努めてほしい。
- ・ 資料2の後半に「④重点エリア3・4整備構想検討会」とあり、「近年、市民の価値観の変化等から」とあるが、何か調査した結果なのか。価値観の変化とは何か。

(事務局)

- ・ アンケートは実施していないが、諸団体からの意見をもとに解釈した。

(亀田委員)

- ・ トイレは水洗になって大変感激している。もっと多くの場所に設置されることを望む。仲間からもトイレがいいという意見が多い。もっとトイレがあるといい。
- ・ 多摩川で絵を描くことが多いので、絵画等の指導者が河川敷にいるとよい。

(進士委員長)

- ・ 積極的に指導してほしいということですね。このような人をお願いしないといけないですね。イベントや生涯学習等の機会を増やすソフト施策を充実させるとよいのではないか。様々な企画を作っていくことが大切。それを指導できるような人をお願いしていくとか。

(櫻木委員)

- ・ 近くの新三沢川から東京都の方までサイクリングする。写真が趣味なので景色をよく見る。登戸から府中まで、サイクリングロードを上流に向かうと富士山が見え、春は黄色い花がきれいだが、歩いている人はあまり気に掛けていないとか、見ていないように思える。川崎側は多摩沿線道路が土手の下にあるので川が見えない。多摩川には川崎側の人間が近づかないようだ。北に出るとということがダメということでしょうか。
- ・ 「多摩川で遊ぼう」とアピールしているが、一般の方は多摩川の情報を知る機会が少なく感じる。普段から多摩川の活動をしている人以外は、市の便りぐらいしか情報が入らないのではないか。ひっそりと暮らしているとなおさらそうだ。

(進士委員長)

- ・ 子どもの頃は縁日があった。5とか3とかつく日ですが、多摩川にも「多摩川の縁日」をつくってみたらどうか。このような日にイベントみたいなことができるとういのは。
- ・ ボランティアとして多摩川の活動に参加してもらう方法だが、以前、川崎市で「川崎市民塾」という名だったと思うが、やっていた。「市民が教え、市民が学ぶ」という構想があったが、そんな仕組みがあるとよいのでは。人は教えられることもあるし、教えることもある。
- ・ 市民団体の活動は、多摩川エコミュージアムのように、積極的に参加する人たちだったが、これからは、普通の人というのか、積極的ではない人も乗っかっていけるような企画が大切。現在の多摩川での活動状況は、ネットワークがないと参加しにくい感じがする。今後は、きっかけがあれば参加したい人など、新しい人が参画できるようにすることが必要。

(青木委員)

- ・ 資料2の後半に「①二子橋周辺エリア再整備工事」とあるが、二子橋周辺のバーベキュー問題については、利用案内板を設置して終わりではなく、マナー向上の訴えを長く続けていかなければならない。
- ・ マナー向上については看板に合わせて啓蒙する仕組みが必要ではないか。また、看板は、目がつくところにどんどん設置することが必要。啓蒙していく手法を検討する必要がある。

(進士委員長)

- ・ パークレンジャーみたいな取組があるといい。取り締まりではなく、ガイドを合わせて行うのがよい。禁止するというよりは、啓発活動とあわせた取組が必要。

(河崎委員)

- ・ 高津区に住んでいるが、高層マンションが増え、多摩川に行く人が増えてきたように感じる。
- ・ 「多摩川であそぼう！ かわさき今昔あそびマップ」に昔の写真があるが、このような昔の写真を、多摩川の看板などに取り入れていくと、若い人も昔の様子を知ることができて楽しめるのではないか。

(進士委員長)

- ・ 私が住んでいる南林間駅周辺でも、昔の地図を使って案内板を整備している。このように、看板に昔の写真や地図、近世の風景を入れるのはよいと思う。新住民にも愛着を持ってもらうことが大切。
- ・ 「多摩川であそぼう！ かわさき今昔あそびマップ」は、印刷部数は1万部でしたか、これを1家に1部配れないだろうか。かなり効果があると思うが。

(事務局)

- ・ マップは人気があり、親子の会話に役立っていると聞いている。世帯数は 30 万世帯を超えており、全戸配布は難しい。

(進士委員長)

- ・ 川というものは資料がないとわからない。行っただけでは、どういう川かわからない。人的支援が必要である。ガイドやレンジャーなどがあるといい。

(安原委員)

- ・ 資料 2 の後半に「②多摩川見晴らし公園整備工事」とあるが、私も公園づくりのワークショップに参加していた。自分で参加することによって、公園への意識が高まった。花の植栽イベントには、子どもと一緒に参加したが、子どもが自分で植えた花壇ということで関心があるらしく、「今日は花が、元気がないね」などといっている。このように熱意がない方も、一度参加すると変わってくる。関心がない人を巻き込むのは難しいが、参加されるような仕組みが必要である。
- ・ また、普通の人にはそんなに市役所や区役所には行かないので、情報が限られる。今回も多摩川施策推進課のホームページを確認したが、更新されていないようなので、まずはホームページの更新を行ってほしい。

(福田委員)

- ・ 最近、個人的には多摩川へ行くことがなくなっていたが、多摩川のアユを食べる人が増えたと聞いている。私が行っていた 13 年前ぐらいは、そのようなことがなかったので、うれしい。
- ・ 資料 2 の後半に「③簡易水洗トイレ設置工事」とあるが、トイレの簡易水洗化は、多摩川に女性に来ていただくためには必要だと思うので、充実していると安心。ただ、トイレを後ろから見ると、後ろ姿は単なるボックスで、マークが付いていないのでトイレかどうか分からないので、トイレと分かるマークが必要ではないかと思う。
- ・ アユを釣る人が、ころがし釣りをしているが、糸が切れると危ないので、都市部の河川では禁止してもらいたい。
- ・ 多摩川のサイクリングコースの脇に多摩沿線道路があるが、この多摩沿線道路を渡るのが大変で、車が多く渡るのが一苦労で苦痛になるので、堤防に横断者のための信号をつけてほしい。また、信号があるところでは渡る信号を長くしてもらおうなど、多摩川に行くところにおいては、ゆとりを持って、安心して安全にいけるように工夫が必要。
- ・ できれば川に専門家みたいな人がいて、その人に聞けば何でも分かるようなことが望ましい。日本全国の河川に、1 河川 1 人、川の専門家がいればよいと思う。二ヶ領せせらぎ館に行っても、何でも分かる人で、いっしょに遊んでくれるような人がいるといい。最低 5 人ぐらいいるといい。
- ・ 多摩川のごみ問題については、対策としては、市条例で禁止するなどしないと最近の人は守れないのではないかと思う。ホームレスの人が出すごみや、バーベキューのごみ、釣りの人のマナーなど、厳しい表現で河川利用者に伝える必要がある。一度禁止

することで、注目するので、その効果もある。また、メリットのある人、例えばパーベキューの食材などを売っているスーパーなどが、ある程度費用を出して、対策が取れるような仕組みが必要ではないか。都市部の河川では、受益者負担をもっとしていいのではないか。

(進士委員長)

- ・ 川の専門家については、「川のソムリエ」というイメージだと思うが、山道委員や北島委員は「川のソムリエ」といえるのではないか、何でも知っているし。

(北島委員)

- ・ 一人の人が何でも知っているというのは非常に難しい。それぞれの分野で専門家がいるので、二ヶ領せせらぎ館の体制づくりには力をいれている。現在、窓口はボランティア2人で対応しているが、曜日毎に生物や植物などの専門家を配置しており、各分野の専門家のいる日を表示している。

(進士委員長)

- ・ 情報のデータベースの話が出たが、人のデータベースも必要だということですね。

## 「議事② ー川崎市多摩川サイン計画策定委員会委員についてー」の意見交換

(北島委員)

- ・ 「川崎市多摩川サイン計画」と「川崎市多摩川景観形成ガイドライン」との兼ね合いはどうなるのか。

(事務局)

- ・ 当然、「川崎市多摩川景観形成ガイドライン」と整合するように策定する。

(進士委員長)

- ・ サイン計画は、アクセスをどうするかが、まず重要な問題。多摩川へのアクセスを向上させる前提としてサイン整備は重要なので、自然系や歴史系の情報など、魅力ある情報をサインに取り入れてほしい。

(青木委員)

- ・ 市民ミュージアムにおいて、小学4年生を対象に、環境教育事業推進として二ヶ領用水の勉強を行っている。バスをチャーターし、午前中に2時間程度行っている。
- ・ 総合学習の一環で、このような取り組みを行っていけば、活動が市内の公立学校に広がっていくと思う。総合学習の時間などを活用するなど。

(進士委員長)

- ・ 初等教育で環境教育を必須とするよう内閣に提言している。
- ・ これからは環境教育に興味がある先生だけが教えるのではなく、全ての子どもに体験させる必要がある。大人の考えを強制することはよくないが、子どもが体験すること

を強制していくという考えがある。その体験を、「多摩川の日」のようなものを作り、おもしろい企画をし、参加することでご近所の顔が見える付き合いができるようになってほしい。多摩川で体験する最初の一步を強制することは無理かもしれないが、意識してこのような仕組みを考える必要がある。

- ・ また、スーパー堤防の後に、必ず高層化されるのは問題だ。沿川に高層ビルが建つと、川の良さを殺してしまう。沿川景観はパブリックであることを認識してもらいたい。景観形成との関係に齟齬が生じる。

### その他の意見

(北島委員)

- ・ ニヶ領用水完成 400 年記念行事 (2010 年) のために準備会を立ち上げようと思っている。行政もご協力をお願いしたい。

(山道委員)

- ・ 2000 年に多摩川に関する情報を収集しようということで調査を行ったが、2010 年にも同様の調査を行いたいと思っているのでご協力をお願いしたい。実行委員会をつくった。前回の調査で、かなり多摩川の過去の映像を集めた。それを編集し、DVD 化した。ニヶ領せせらぎ館にも提供したが、モニターが故障中ということで見ることができないそうだ。このようなものも活用してもらいたい。

## 7. 閉会

以上